

学校だより

2025年11月から12月までの 資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

●11月9日 英語検定二次
(二次合格生徒)

●12月2日 計算技術検定
(2級・3級受験生徒)

●12月13日 危険物取扱検定
(選抜生徒)

1年生が社史見学

日立の歴史を学ぶ

少し肌寒い日となった10月22日、恒例の1年生社史見学会を実施した。今年度も日立オリジンパーク・熊野神社・日鉦記念館を2班に分かれて見学した。



社史見学(日立オリジンパーク)

オリジンパークでは2グループ毎に、それぞれご案内いただく等、丁寧なご対応をいただいた。また、熊野神社では神社および記念碑の説明、拝殿での参拝に加え、御札まで頂戴し、大変印象に残る参拝となった。今回も各見学場所でのクイズが出題されたが、生徒はみな100点満点をめざし興味を持って見学に臨んでいた。加えて事前学習した日立100問100答の文言が随所で現れ、実地でそれらを確認することで、より深く社史を身につけることができた。今後も日立製作所と日専校の歴史を实地で学べる社史見学会を貴重な機会と位置づけ継続実施していく。

考動アクション委員会

主体的な行動を実践

2年電気科1組 後藤 洗平

(考動アクション委員長)

この度、日専校のリーダーとして考動アクション委員長を務めることになりました後藤洗平です。各委員会のチームリーダーという立場を通じた自己成長への期待と、学校・生徒・事業所からの期待に応える責任感という二つの思いを力に変え、全生徒を導くリーダーとして尽力いたします。主な活動として、考動アクション委員会の内部組織(学校・寮・部活動委員会)の活動を共有し、他委員会からの意見を収集します。そして、最終的な目標を「事業所から信頼される人財になること」と明確化し、それを達成するための具体的な手段を策定し全校に展開

します。具体的には、学校委員会がクラス活動の改善を、部活動委員会が問題解決のための改善案策定をそれぞれ促し、その活動成果を全校集会で発表することで、生徒全員が成長する機会をつくり出します。この目標達成には、生徒全員が「当たり前のことを当たり前に実践する力」が必要です。自身はリーダーとして常に責任と自覚を持ち、考動アクションをマインドの土台とします。考動アクションを通じ、全生徒の人間力を養い、委員会のメンバーと共に日専校をより良いものにするため、誠心誠意努めます。



考動アクション委員会

日専祭・保護者会を開催

11月8日、恵まれた天候の中、日専祭・保護者会を実施した。朝から日専校の代名詞とも言える実習授業にて、1年生の真剣に学ぶ姿をご覧いただいた後、体育館にて校長のあいさつや諸



日専祭(日専校どらやき販売)

連絡を主とした保護者会全体会を開催。その後日専祭を開始し、生徒たちによるクイズ、動画、ダンス、生演奏を交えた楽しい部活ステージ発表を行った。参加者全員が一体となった後、各部のイベントや、出店の食事に分かれ、来場者にも楽しんでもらえる企画を実施した。日頃の学習成果である課題作品も各実習場に展示し、保護者の皆様にとって、生徒たちの日々の成長が垣間見られる一日となった。毎年、日工同窓会の先輩方にも抽選会を行っていただき感謝申し上げます。

2年溶接科 野口 颯

(学校委員会委員長)

私は考動アクション学校委員会委員長、2年溶接科の野口颯です。今回、日専祭の実行委員として企画運営を担当しました。私たち委員にとっても初めて本格的に運営を行う行事であ

り、やる気に満ち溢れていました。しかし、実際には思うようにいかないことも多くありました。特に午前の企画では、保護者の方々も楽しめる案になかなか辿り着けず、頭を悩ませました。決定の遅れから情報の展開も遅くなり、各部活の準備時間を十分に確保できなくなってしまうことは大きな反省点です。一方で、本番ではどの部活も非常にクオリティが高く、生徒はもちろん、先生方や保護者の方々にも楽しんでいただけたと感じています。運営面では情報共有の曖昧さから連携不足が生じる場面もありましたが、この失敗を通して、メモを取るこの重要性や、正確に情報を処理・伝達する力の必要性を強く再認識しました。日専祭を通して、改めて自分が学校のリーダーであるという重みを実感しました。



日専祭(部活ごとにステージ発表)

(13頁の続き)

この経験と反省を糧に、これからの学校の明るい未来のために尽力していきたいと思っています。

1年生が安全体感教育受講 安全はすべてに優先する

10月から11月にわたり、日立事業所教育訓練センター内の安全体感センターにおいて、1年生75名全員が6グループに分かれて安全体感教育を受講した。研修では、安全の概要説明および災害事例の紹介に続き、生徒にとって初めてとなる体感装置・VRを用いた危険体感を実施した。これらの内容は、学校の授業や実習では得難い災害の危険性を実感させるものであり、生徒の安全意識の高揚および危険感受性の向上に寄与した。

1年1組 芳賀 聖華
安全体感講習会を受講して、日頃から



安全体感教育

ら日専校で学び実践している安全行動が実際の工場においても重要視され、日々実行されていることを知ることでできました。現場では質の高いRKYが実行されており、危険度を可視化して具体的な対策でリスクを下げようとする工夫や、それでも「危険はゼロにはならない」という前提に立つた意識の高さを学びました。また具体的な災害事例を、身をもって体感することで、普段の生活や作業環境の中にも危険が潜んでいることを実感し、安全意識を高めることができました。今回の受講で得たことを今後の実習や将来の業務に活かし、安全を最優先とする行動を徹底していきたいと思っています。

2026年度入学試験 県外を含む5会場で実施

12月4日、5日の両日、2026

年度生の入学試験を県内2箇所（本校つくば市、青森県（青森市、東京都（大田区、山口県（下松市））の5会場）で実施した。近年、少子化の影響が顕著に現れ、近隣の県立高校では定員割れする学校も多く、受験生の確保に苦労している。日専校では優秀な人材を確保すべく、今年度も各事業所にご協力いただき従業員向けの説明会、小・中学生を対象とした出前授業を実施するなどPR活動を展開してきた。また、夏休み期間に下松市、青森市、弘前市、八戸市で学校説明会を開催、更にメディア（青森放送、青森朝日放送）を活用した広報活動も展開してきたが受

験生の確保に苦戦している。今後も日専校の魅力を幅広く発信し、生徒募集活動を展開、受験生の増員を期待している。同窓会員の皆様には、引き続きお知り合いの方々に日専校の紹介をお願いしたい。

寮避難訓練を実施



寮避難訓練

12月11日、本年度2回目となる避難訓練を実施した。前回は授業中の災害発生を想定した校舎・実習場からの避難であったが、今回は生活の場である寮からの避難に焦点をあてた。本訓練の目的は、緊急事態において教職員および生徒が安全かつ迅速に避難できるよう備えを万全にする事にある。今回は、昼食時間帯に寮の厨房から火災が発生し、寮食堂内に煙が流入してパニックに陥るというシナリオを設定した。非常ベルの鳴動と避難指示の放送を受け、参加者は即座に避難を開始し

特段のトラブルもなく集結を完了した。また、日立消防署の職員協力のもと、参加者全員が水消火器の取扱訓練を受けた。最後に同署職員より、有事の際の心構えについて訓話を頂き終了した。今後も継続的に訓練を計画し、防災意識の向上に努めていく。

第56回日専校マラソン大会

例年、マラソン大会に備え、事前に約1週間、平日の朝の授業前に、学校グラウンドで「耐寒ランニング」を実施している。今年度も12月12日から体育委員のリードにより、全校生徒がラジオ体操、日専校体操の後、グラウンド周辺を走った。その他、体育の授業や部活動でも、この時期はランニングの練習を行っていた。そして、「第56回日専校マラソン大会」を12月19日、晴天の下、ひたち海浜公園にて開催した。生徒たちは元気に園内を駆け抜け、



耐寒ランニング



マラソン大会(国営ひたち海浜公園)

全員が完走した。男子個人の部は2年電気科1組の後藤洗平さん、女子個人の部は2年電気科1組の根元優衣奈さんが優勝となった。また、クラス対抗は2年電気科1組、部活動対抗はバスケットボール部が、それぞれ優勝した。生徒たちにはクラスの枠を超えて応援する姿や健闘を称え合う姿があり、心温まる気持ちで終わることができた。

【大会結果】

- 部活動対抗 ①バスケットボール部 ②陸上長距離部 ③サッカー部
- クラス対抗 ①2年電気科1組
- ②2年電気科2組 ③2年機械科
- 男子個人【10キロ】 ①後藤洗平（2年電気科1組） ②黒澤柚稀（2年電気科2組） ③渡部眞生（2年電気科1組）
- 女子個人【5キロ】
- ①根元優衣奈（2年電気科1組）